

《生活文》 すきなもの、なめて

アクトン 小一

ぼくは、しょうぼうしやがすきです。かっこいいからです。

アクトン 小一

わたしは、じてんしゃがすきです。かぜが、びゅうびゅうふいて、きもちいいからです。

【評】授業中に書きあげました。好きなものを上手に文章で表現できています。

《生活文》 病気の時

アクトン 日八

私の家では病気になるないようにするために、家に帰ってきたら、すぐ手を洗います。うがいも一緒にすると、さらに良いのですが、私はあまりしていません。それでも病気になるってまったら、様子をみます。ねつが高かったら、お薬をのんで、たくさん水をのんで、長そでの服を着て汗をたくさんかくようにしています。



これは、どの家でもやっていることだと思います。他に私は、ヨーグルトとフルーツをたくさん入れたスムージーを作っているんです。美味しいし、体にも良いからです。スポーツもできるだけたくさんして、

きん肉をつけるようにしています。学校では、ネットボール、クリケットやマラソンをしています。また、家の近くでテニスのレッスンをしています。体を動かすのは、気分もよいし体にもいいので一石二鳥なのでよいことだと思います。

【評】病気の予防、健康的な食事、適度なスポーツなどが病気になるにくい、丈夫な体づくりの助けになりますね。上手に書けました。

《感想文》 楽しいさが立ちます

クロイデン 小三

わたしは『こまを楽しむ』を読んで、さか立ちこまで遊びたいと思いました。

どちゅうから回り方がかわり、さか立ちした後にきのこのように見えるのがかわいいからです。そして、小さいから出かけるときにポケットの中に入れてもっていくことができます。

小学校の友だちにしようかいいしたいです。なぜなら、きつとその人たちはさか立ちこまを知らないからです。



【評】遊びたいこまについて、「はじめ・中・おわり」の組み立てて作文を書きました。逆立ちした様子のかわいさや、お出かけのときの運びやすさなど、○○さんらしい視点で逆立ちこまのよい点が見つげられました。

《創作文》 「わたしのついでに母をこぼす」

アクトン 小二

ぼくは、たんぼぼのたねにのって日本のきゅうしゅうに行きました。まず最初に、ふくおかでいちご狩りに行きました。

あまおうの農家の人たちに会いました。「あまおうは、どういうとくちようがあるんですか。」とぼくが聞くと、「あまおうは、あかくてまるくておおくてうまい」と教えてくれました。



ビニールハウスにはいると空気がかわって、いちこのおいしそうなおいがしました。いちこのくきを取る時、「ブチッ」という音がなつて、食べる時は「シヤキッ」という音がなりました。おいしかったです。

【評】いちこの美味しそうな匂いがしてきて、「ブチッ」「シヤキッ」という音が本当に聞こえるようです。新鮮なあまおうが目の前に想像できました。○○さん、綿毛に乗って楽しい旅ができたね！

《生活文》 チェリーセージ

アクトン 小二

わたしは、いえの花だんでとうがらしのようなたつぼみを見つけてました。

夏になったらさいっていました。花びらが、バレリーナみたいでかわいいと思いました。

おかあさんに何の花かきいてみたら、「この花は、チェリーセージだよ。」と教えてくれました。

花の中のしんに、むらさき色のうずまきのようなものがありました。においは、しませんでした。ふしぎなしょくぶつだなあと思いました。つぼみから花になるまでがふしぎでした。

【評】かわいいチェリーセージの様子がよく分かりました。

